

申込
期間込

令和5年

6/1

7/20

令和五年度

講座

「丹波学」

丹波武将と徳川家康

その時、家康は丹波に何をみたのか

●お申し込み方法

下記、申込用紙に必要事項を記入の上、ご持参いただくか、郵送またはファックスでお申し込みください。

また、お申し込みフォーム（左下のQRコードにアクセス）からもお申込みいただけます。

電話での受付はしておりません。また、定員を超えた場合は申込期間内であっても受付を終了させていただきます。

※申込から2週間程度で受講決定通知と振込用紙を郵送します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、中止または変更になる場合があります。

●問い合わせ先

丹波の森公苑 事業推進部 文化振興課 講座「丹波学」係

〒六六九-1330 丹波市柏原町柏原五六〇〇

電話番号 〇七九五-721-5170

ファックス 〇七九五-721-0899

●会場 丹波の森公苑 ホール

●定員 一五〇名

●受講料 六〇〇〇円



受講申込
フォーム

主催：(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

令和5年度 講座「丹波学」受講申込書

令和5年 月 日

氏名				ふりがな			
住所	〒	-					
電話番号	()	-		FAX	()	-	

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。

令和5年度 講座「丹波学」 講義日程・講師紹介

第1回 8/26(土) 14:00~ 15:30	「小牧・長久手合戦と丹波・荻野氏」 城郭談話会・会員 福島 克彦 氏 兵庫県生まれ、立命館大学文学部史学科西洋史学専攻卒業。現在、大山崎町歴史資料館館長。 専門は日本中世都市史、城郭史。 主な著書に、『畿内・近国の戦国合戦』（吉川弘文館）、『明智光秀と近江・丹波分国支配から「本能寺の変」へ』（サンライズ出版）、『明智光秀 織田政権の司令塔』（中央公論新社）など。
第2回 9/16(土) 14:00~ 15:30	「篠山城の天下普請と城下町の形成」 県立考古博物館・名誉学芸員 山上 雅弘 氏 兵庫県生まれ。甲南大学文学部卒業。現在、県立考古博物館名誉学芸員。 専門は城郭考古学。 主な著書に、共著『播磨の山城』2022、共著『置塩城跡発掘調査報告書』2006、共著『戦国時代末期における畿内の城郭と蔵構造建物』2010など。
第3回 10/7(土) 14:00~ 15:30	「大坂の陣と丹波武将」 名城大学・非常勤講師 長屋 隆幸 氏 山形県生まれ。愛知県立大学国際文化研究科博士後期課程単位取得。博士(国際文化)。現在、名城大学非常勤講師。 専門は、織豊期から幕末までの軍事史。 主な著書に『近世の軍事・軍団と郷土たち』（清文堂出版）、『山内一豊・忠義 播州以来、御騎馬は御身上に超過なり』（ミルネヴァ書房）など
第4回 11/11(土) 14:00~ 15:30	「関ヶ原の合戦と丹波武将」 株式会社歴史と文化の研究所・客員研究員 水野 伍貴 氏 愛知県生まれ。高崎経済大学大学院地域政策研究科博士後期課程単位取得退学。現在、株式会社歴史と文化の研究所客員研究員。 専門は日本近世史(豊臣政権、江戸時代初期)。 主な著書に、『秀吉死後の権力闘争と関ヶ原前夜』（日本史史料研究会）、『関ヶ原の役における吉川広家の動向と不戦の密約』（研究論集歴史と文化第5号）、『関ヶ原の役と伊達政宗』（十六世紀論叢10号）、『関ヶ原への道 豊臣秀吉死後の権力闘争』（東京堂出版）など。
第5回 12/2(土) 14:00~ 15:30	「本能寺の変から読み解く 徳川家康と明智光秀」 株式会社歴史と文化の研究所・代表取締役 渡邊 大門 氏 神奈川県生まれ。関西学院大学文学部卒業。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。現在、株式会社歴史と文化の研究所代表取締役。 専門は、日本中近世政治史。 主な著書に、『戦国期赤松氏の研究』（岩田書院）、『戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力』（岩田書院）、『赤松氏五代』（ミネルヴァ書房）、『戦国・織豊期 赤松氏の権力構造』（岩田書院）、『編集 赤松氏・宇喜多氏の研究』（編著・歴史と文化の研究所）、『豊臣五奉行と家康 関ヶ原合戦をめぐる権力闘争』（柏書房）など多数。